

## 第 120 回・日商簿記検定試験 2 級 第 1 問 仕訳問題類題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	普通預金	別段預金
売掛金	受取手形	積送品	試用品
前払金	建設仮勘定	建物	満期保有目的債券
創立費	開業費	株式交付費	社債発行費
買掛金	支払手形	長期借入金	社債
資本金	資本準備金	利益準備金	売上
仕入割引	試用仮売上	仕入	売上割引

- かねて試用販売のため X 商品（原価 400,000 円、売価 600,000 円）および Y 商品（原価 500,000 円、売価 700,000 円）を得意先藤方商店に試送していたが、本日、藤方商店から Y 商品の全部について買取りの意思表示があり、X 商品の全部が返品されてきた。なお、当社は、試用販売の記帳について、試用品勘定を用いて手許商品と区別して処理する方法によっており、売上計上のつど試用品の原価を仕入勘定に振り替える処理を行っている。
- 関工業株式会社は設立にあたって発行可能株式総数 8,000 株のうち 2,000 株を 1 株 50,000 円で発行し、その全額について引き受け・払い込みを受け、払込金については当座預金とした。ただし、会社法に規定する最低限度額を資本金に計上することとした。なお、設立準備のために発起人が立て替えていた諸費用 300,000 円を小切手を振り出して支払った。
- 平成 20 年 12 月 3 日に、神戸物産株式会社は、仕入先分部製作所に対する買掛金を小切手を振り出して支払った。なお、この買掛金は平成 20 年 11 月 29 日に仕入れた商品 300,000 円に対するものであり、仕入日より 1 週間以内に支払う場合は、代金の 3% を割り引くという条件が付いていた。
- 長野商事株式会社（決算年 1 回、3 月末日）は、4 月 1 日に額面総額 20,000,000 円の社債を年利率 3%（利払い年 2 回、3 月と 9 月の末日）、償還期限 5 年、払込金額@98.00 円の条件で発行し、払込金は当座預金とした。なお、社債発行のための諸費用 500,000 円については現金で支払った。
- 木造通商株式会社は建設中の営業用店舗の完成にともない工事代金の残額 8,000,000 円を小切手を振り出して支払い、店舗の引渡しを受けた。この店舗に対しては工事代金としてすでに 2,000,000 円の支出を行っている。